

## 平成22年度 学校関係者評価及び改善策

( 中間・最終 )

音戸中学校区 校番 35

学校名 田原小学校

評価項目	評価	理由・意見
目標, 指標の設定の適切さ	A	適切である。 少人数の長所を生かし適切である。 無理なく取り組めるよう設定されている。 音読・あいさつなど, 進んで行えるよう取り組んでいることで, 自信が持てるように設定されている。 具体性にやや欠けている。
目標達成のための方策の適切さ	A	具体的であり分かりやすい。 行事などの機会をとらえ, 発表する機会を多く持たれているのがいいと思う。 あいさつがよくできるようになったと地域でもよく耳にする。あいさつから取り組んだことがよい。 音読・群読の取り組みで, 記憶力も鍛えて行っているのがよい。
自己評価の結果と分析の適切さ	B	もう少し評価は高いと思う。 先生方の取り組みに対する厳しさがうかがわれる。結果が低めだと思う。 学校全体をみると, それぞれの目標に対してよくできていると思う。
今後の改善策(案)の適切さ	A	分析が適切である。 具体的である。 目標を達成できるように(案)ができている。 この(案)でよいと思う。 結果分析とのつながりを考えると概ね適切であるといえる。
その他		年度初めは, 恥ずかしそうにこっからあいさつをしたら, あいさつをしてくれていたが, この頃は児童の方から, 大きな声であいさつをするようになってきた。 子どもの方から, 「本を読もう」と言うようになった。 「質問はありませんか」をしっかり定着させ, 質問ができる児童にしてほしい。

評価は, A(とても適切), B(概ね適切), C(あまり適切でない), D(まったく適切でない), N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	「質問はありませんか」を定着させ, 児童の方から質問できるようにする。 あいさつについて, 地域の方の声を児童に届け, あいさつの大切さについて再確認するとともに, 進んであいさつすることを奨励する。
--------------------	---